

## 第一回「聖灯祭」の開催を祝して

看護短期大学部長 塚田トキエ

大学三学部合同で第一回の「聖灯祭」が開催され、誠にとおめでとございます。テーマは「花火」だそうですですが、みなさんのエネルギーを凝縮してどのような花を咲かせようというのでしょうか？とても楽しみにしております。

衛短祭のときと異なり規模も大きく内容も豊富だと思いますが、それぞれの学部がいい意味で競い合って大学祭を盛り上げ成功させてほしいですね。春 semester（前期）が終わり共通科目の授業などで他の学部の学生と机を並べて共に学び、たまには集まって議論することもできるようになったのではないのでしょうか。更に聖灯祭では他学部の学生と一つの目標にむかって行事を行うのですから、より多くの人とのかわりをもち違った考えかたや意見とのあいがあり自分をつめるよい機会になるのではないのでしょうか。

私が以前いた大学で大学祭に参加する学生がほんの一部だったものですから、「一部の学生のための大学祭のようだ。それでは意味がないのでやめてはどうか。」と提案されたことがあります。しかし少人数であってもみんな力で力を合わせ一つのことを成し遂げようと懸命になっている学生の意思をそぎ、学習意欲の機会をうばってしまふことは教育者として考えたほうがよいのでは。という意見も出て大学祭は続行されたことがあります。大学祭に

かかわる学生が一生懸命に想像力たくましくアイデアをだしてあってその成果を他の学生や一般の人に公表し、それをみていろんなことを感じ学び批評する目を養い自己の信念に基づいて学検を述べる学生もでてくることでしょう。学生の参加の仕方がいろいろあってもよいのではないかと思えます。大学はただ、知識をえるだけの場でなく教科で学ぶことのできない知識以外のこと——例えば協力しあう態度とか、人生観とは同じ目標をもって達成する充実感など——単に教師から学ぶだけでなくその人が自ら出会ったさまざまな学習場面で、学ぶ内容も異なると思えます。よい機会ですから是非一人でも多くの学生が参加して、多くのことをみにつけていただきたいですね。「聖灯祭」の門下に相応しい大学際にしてほしいとねがっております。

最後になりましたが実行委員のみなさまおよび「聖灯祭」を支援してくださいました皆様から感謝いたします。